

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 62 ※記入不要	提案機関名 足柄地域農業改良普及センター
要望問題 水稲不耕起直播き栽培における雑草防除技術の確立	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】	
<p><背景> 当管内では、水稲不耕起直播き栽培が試験的に導入されているが他作物の作業との競合等により適切な雑草防除ができない状況にある。このことが水稲不耕起直播き栽培普及の不安定要因となっており、地域の農業者から期待されているものの普及しない原因となっている。また、近年の環境保全型農業の推進の中では除草剤の散布回数が多いため、回数削減の要望が多い。</p> <p><内容> 水稲不耕起直播き栽培における効果的かつ散布回数を削減した雑草防除技術の確立をお願いしたい。</p> <p><対象地域及び規模（面積、数量等）> 神奈川県全域の水田等</p>	
解決希望年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
研究対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①研究所対応 <input type="checkbox"/> ②委託研究 <input type="checkbox"/> ③共同研究 <input type="checkbox"/> ④その他
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業総合研究所（ <input type="checkbox"/> ②根府川試験場 <input type="checkbox"/> ③三浦試験場 <input type="checkbox"/> ④津久井試験場） <input type="checkbox"/> ⑤畜産研究所 <input type="checkbox"/> ⑥水産総合研究所（ <input type="checkbox"/> ⑦内水面試験場 <input type="checkbox"/> ⑧相模湾試験場） <input type="checkbox"/> ⑨自然環境保全センター

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部 署	生物資源部
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可
試験研究課題名	(①、②、④の場合)
対応の内容等	水稲不耕起直播き栽培は、低コスト栽培法として近年注目されています。特に、岡山県や愛知県などでは現場レベルでも試験が行われており、播種前の春期、秋期の雑草防除法あるいは湛水時期と雑草の発生などについて検討していますので、試験結果などの情報を提供します。また、現地において実証する場合には、協力していきたいと考えています。
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
備 考	(参考：愛知県) ①除草は播種前に発生している雑草の防除が重要であり、春先に除草剤を散布する ②雑草の発生が多く秋の生育が早い場合には、秋に除草剤を散布し枯す ③早く湛水したほうが雑草防除が容易で、除草回数を少なくすることができる。